ASTRO PRODUCTS

AP160581

チェーンソー

取扱説明書

●本製品には、次の物が付属していません。使用する前には、必ず準備してください。
- 潤滑用のチェーンソーオイル
- 混合ガソリン用の無鉛レギュラーガソリン、２サイクルエンジンオイル

１．はじめに

●この度は、アストロプロダクツ製品をお買上いただきまして、誠にありがとうございます。
●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使いくださいますよう、お願いいたします。
●安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。

２．取扱説明書について

●当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または、一部を複製・改修し、無断で転載することは、禁止されています。
●この取扱説明書および、製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な注意事項を、危険・警告・注意のマークを使用し表現しています。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
●本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている各項目をよく読み、理解し厳守してください。取扱説明書をなくしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。
●危険・警告・注意事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全に関する表示について

⚠ 危険	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う危険が、差し迫った状態を示しています。
⚠ 警告	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う可能性を示しています。
⚠ 注意	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的傷害および、製品の故障や、その他、物的損害が発生する可能性を示しています。
重要	この表示内容は、製品を正しくお使いいただくため、守っていただきたい、重要な要点を示しています。

３．目次

４．安全に使用していただくために.. ５
■作業をはじめる前に.. ５
■燃料の給油.. ８
■作業環境.. ９
■チェーンソーの安全上の留意事項.. １０
■点検・保管.. １４
５．重要ラベル.. １５
６．製品仕様.. １６
７．製品説明.. １６
８．各部名称・説明.. １７
８－１．各部名称.. １７
８－２．各部説明.. １９
９．各部取り付け.. ２３
９－１．スパイクの取り付け.. ２３
９－２．ガイドバー・チェーンの取り付け.. ２４
１０．燃料の給油.. ２７
１０－１．燃料給油前の確認.. ２７
１０－２．燃料の給油.. ２８
１１．チェーンソーオイル.. ２９
１１－１．チェーンソーオイルの給油.. ２９
１２．エンジンの始動・停止.. ３０
１２－１．エンジン始動手順.. ３０
１２－２．エンジン停止手順.. ３４
１３．作業前準備および確認.. ３６
１３－１．作業場所の確認.. ３６
１３－２．服装の確認.. ３６
１３－３．木の切断作業時の身体に対する留意事項.. ３７
１３－４．作業前点検.. ３７
１４．木の切断.. ３８
１４－１．木の切断時の留意事項.. ３８
１４－２．キックバックについて.. ３８
１４－３．基本操作.. ３９
１４－４．伐木（立木を倒す作業）・造材（倒した木を切断する作業）.. ４０

３．目次

１５．点検・整備 …… ４２
　１５－１．点検・交換時の留意点 …… ４２
　１５－２．定期運転・交換 …… ４２
　１５－３．点検・交換目安 …… ４２
　１５―４．フィルターの清掃 …… ４３
　１５－５．スパークプラグの点検・清掃・交換 …… ４４
　１５－６．その他部位の点検 …… ４５
１６．燃料の抜き方 …… ４６
　１６－１．燃料を抜くときの留意点 …… ４６
　１６－２．抜き方 …… ４６
１７．保管 …… ４７
　１７－１．保管時の留意点 …… ４７
　１７－２．保管方法 …… ４７
１８．破棄について …… ４８
１９．所有者・使用者責任 …… ４８
２０．故障について …… ４８
２１．個人情報の取り扱い …… ４９
２２．お問い合わせ先 …… ４９
　■カスタマーサービス …… ４９
　■販売元 …… ４９
製品保証書 …… ５０

４．安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。

・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

●確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転を停止する方法を、習得してください。

・不慣れな状態での操作は、重大な事故の原因となります。

⚠警告

●使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。

・使用方法が不明な場合は使用せずに、お買い求めの販売店へ、相談してください。

●危険や警告事項をよく理解し、使用してください。

・取り扱いを誤ると、事故の原因となります。

●修理技術者以外の人は、本取扱説明書に記載されていない、本体の分解・修理・改造はしないでください。

・異常作動、加熱、発火など、事故の原因となります。

●過労と思われるときや、飲酒や薬物を服用しているときには、絶対に使用しないでください。

・判断力が鈍り、事故の原因となります。

●子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。

・人体への傷害や事故の原因となります。

●本製品は、伐木造材作業に関する、十分な知識をお持ちの専門家を、対象に作られています。

・チェーンソーを初めて使う方や伐木造材経験のない方は、必ず専門家の指導のもと使用してください。

●本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。

・誤った使い方をする可能性があり、人体への傷害や事故の原因となります。

●警告・注意ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。

・誤った使い方をする可能性があり、人体への傷害や事故の原因となります。

●誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

・取扱説明書の使用方法を、よく理解してください。

４．安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠ 警告

●本製品は、木材を切断することを、目的としています。木材以外の物（金属、石、コンクリートなど）を、切断することはできません。

・本来の用途以外での使用は、重大な事故の原因となるので、止めてください。

●本製品は、大切に取り扱ってください。

・落下や転倒などにより、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。

●本体が異常に熱い、異音・異臭がする、その他異常を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

・異常に気が付いた場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。

●以下の服装などは、巻き込まれケガをし、事故の原因となりますので、止めてください。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。
・ネクタイや、ネックレスなどの装飾具を身に付けている。
・首に、タオルを巻き付けている。
・サイズの極端に大きな衣服や、だぶだぶの衣類を着用している。

●次の服装・保護具を、必ず着用してください。

・袖じまりのよい長袖の上着を着用し、ボタンやファスナーは最後まで閉じ、裾はズボンに入れます。
・裾じまりのよい長ズボンを着用し、長靴着用時は裾を中に入れ、安全靴着用時は裾を上部に、挟み込みます。
・保護メガネ（ゴーグル）または、フェイスガードを着用します。
・保護帽（ヘルメット）を着用し、髪が長い場合は束ねてから、保護帽（ヘルメット）を着用します。
・滑りにくい先芯入りの長靴または、滑りにくい先芯入りの安全靴（ヒモなし）を着用します。
・防振性の高い手袋（防振手袋）を着用します。

●チェーンの取り付けは、確実に行ってください。

・取り付け不良は、人体への傷害や事故の原因となります。

●チェーンに異物が絡まっていないか、点検してください。

・異物が絡まった状態での使用は、人体への傷害や事故の原因となります。

●事業者の方へ

・伐木造材作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
・関連法令：労働安全衛生法第５９条第３項、安全衛生特別教育規定第１０条の２
　　　　　　労働安全衛生規則第３６条第８号の２

４．安全に使用していただくために

作業をはじめる前に

⚠ 注意

●純正部品を、組み付けてください。

・他製品の部品を組み付けると、思わぬ事故の原因となります。

●組み立て前に、部品の状態を確認してください。

・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。

●組み立て手順に従って、組み立ててください。

・部品の組み付け不備や組み立て不良は、ケガや事故の原因となります。

●組み立て場所は整理整頓し、障害となるような物は置かないでください。

・散らかった場所での作業は、人体への傷害や事故の原因となります。

●作業前に、ネジの緩み、部品の欠損やサビ、チェーンの取り付け状態、チェーンブレーキの作動状態などを、毎回必ず点検してください。

・故障や事故を、未然に防ぐことができます。異常が確認できた場合は、作業を中止し、お買い求めの販店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。

●持ち運ぶときは、エンジンを停止させ、チェーンが完全に停止していることを確認してください。ガイドバーカバーを取り付け、前ハンドル、後ハンドルをしっかり持って、持ち運んでください。

・エンジン始動状態や、片手、他の部位を持っての移動は、事故の原因となります。

●市販のガイドバーやチェーンは、その商品に付属されている取扱説明書に従って、取り扱ってください。

・取扱説明書に従わずに使用することは、人体への傷害や事故の原因となります。

４．安全に使用していただくために

燃料の給油

⚠ 危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。

・タバコを吸わない。

・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。

・通気のよい場所で給油する。

・静電気を除去してから給油する。

・エンジンを停止させる。

●給油後は、燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。

・漏れた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。

・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●エンジン始動は、給油した場所より、３ｍ以上離れた場所で始動してください。

・燃料がこぼれている可能性があり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

●燃料キャップは、確実に締め付けてください。

・締め付け不足は、燃料漏れの原因となります。

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。

・石けんと水で、よく洗い流してください。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。

・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

●燃料給油中、燃料タンク内に水が入らないよう、注意してください。

・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

●無鉛レギュラーガソリンと２サイクルエンジンオイルを混ぜ合わせた燃料を使用してください。

・他の燃料の使用は、止めてください。

●本製品は、混合ガソリンを使用するため、混合比（２５：１）を間違わないでください。

・混合ガソリン以外の燃料の給油や、混合比を間違うと、エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

４．安全に使用していただくために

作業環境

⚠ 警告

●次の作業環境下では、使用しないでください。人体への損傷や、物品への損害など、重大な事故の原因となります。

・足元が滑りやすく、不安定な場所
・早朝や夜間、霧が発生し視界が悪く、周囲の安全をよく確認できないとき
・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時
・急傾斜など、転倒の恐れがある場所
・ガソリン、軽油、灯油などの、燃料がある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・通気が悪く、換気のできない場所

●石、縁石、壁、フェンス、木の根、杭などの、硬質な固定物がある場所では、使用しないでください。

・勢いよく跳ね返るキックバックやチェーンが破損し、人体への傷害や事故の原因となります。

●作業場所に、スズメバチなどの蜂の巣がないか、確認してください。

・巣がある場合は作業せずに、専門業者に駆除の依頼をしてください。

●作業中、ハチに刺された場合、重症化する可能性がありますので、適切に処置してください。

・体調の異変に気が付いた場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

●作業中、蚊、蛾、ケムシなどの、虫に刺されることがありますので、虫よけの対策を施してください。

・虫に刺されたときは、適切に処置してください。

４．安全に使用していただくために

チェーンソーの安全上の留意事項

⚠ 危険

●人体への傷害や重大な事故の原因となるので、次の操作は、絶対に止めてください。

・チェーンに、顔や手を近づけた状態で、スロットルレバーを操作する。

・回転しているチェーンに、手や足を近づける。

・身体に近い状態で、チェーンを回転させる。

●作業中は、半径１５m以内に、作業者以外の人や動物を近づけないでください。

・切断した木片や木くずが飛散し、人体への傷害や事故の原因となります。

●２人で作業するときは、お互いに１５m以上間隔を開けてください。

・近づき過ぎたりしないよう、作業中は十分注意してください。

●作業者に近づくときは、１５m以上離れた場所から合図し、エンジンが停止したことを確認してから、近づいてください。

・合図せずに近づくと、作業者が気付かず、重大な事故の原因となります。

●ガイドバーの先端では、絶対に切断しないでください。

・キックバックにより、作業者に向かって跳ね返る恐れがあり、重大な傷害を負う危険があります。

●高さが２mを超える高所での作業は、高所作業用機器を使用し、安定した足場を確保してください。

・高所作業機器を使用しない状態は、足場が不安定になり、落下などの重大な事故の原因となります。

●はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢になる状態では、作業しないでください。

・バランスを崩し、落下する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

●片手での作業や、腕を伸ばして作業しないでください。

・キックバックやコントロール不良による、人体への傷害や重大な事故の原因となります。

●作業範囲は、肩から腰までの高さとし、それ以外では作業しないでください。

・落下する恐れがあり、人体への傷害や重大な事故の原因となります。

●草や蔦などが巻き付き取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。

・エンジン始動中に作業すると、草や蔦を取り除いた途端に、回転する可能性があり、人体への傷害や重大な事故の原因となります。

●電線やガス管などが設置されている場所では、切断させないよう、十分注意してください。

・電線やガス管の切断は、重大な事故の原因となります。

４．安全に使用していただくために

チェーンソーの安全上の注意

⚠ 警告

●使用者の体質によって、指が白くなり感覚がなくなる症状や、手や指、腕がしびれたり、冷え、こわばりなどが持続的に現れる、振動障害を発症することがあります。発症には個人差があり、発症させないためにも、次の内容を守ってください。

・作業時間を制限し、振動を受ける時間を減らしてください。

・身体を温かく保ってください。

・手や指先、腕を冷やさないでください。

・頻繁に休憩をとってください。

・腕の運動をし、血行をよくしてください。

・作業中の喫煙は、止めてください。

・振動障害の症状が見られた場合は、ただちに作業を中止し、医師の診断を受けてください。

●行政機関では、作業者の健康管理のため、次のような作業時間の指導をしています。健康を害さないためにも、作業時間の組み合わせを、しっかり計画し作業してください。

・１日の作業時間：２時間以内

・１回の連続作業時間：１０分以内

・１回の連続作業後の休止時間：作業時間と同じ程度

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では、使用しないでください。

・高温による脱水症状や、熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。

●原則２人で作業を行い、１人が周囲の安全を確保してください。

・安全確保を怠ると、人への傷害や、建物などへ損害を与える恐れがあります。

●作業に集中すると、周囲への安全確認が疎かになり、事故を招く可能性があります。

・作業手順や、周辺の状況などを、よく確認してください。

●正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。

・人体への傷害や事故の原因となります。

●身体をアースさせる物に、接触させないでください。

・感電する恐れがあります。

●エンジン始動は、平らな場所に置き、本体をしっかり押さえながら、始動してください。

・不安定な場所でのエンジン始動は、ケガや事故の原因となります。

●エンジン始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

・ケガや事故の原因となります。

4．安全に使用していただくために

チェーンソーの安全上の注意

⚠ 警告

●前ハンドルを左手、後ハンドルを右手で、囲みこむようにしっかり握り、両手で操作してください。

・片手での操作や、指先だけで握って操作すると、振動により思わぬ方向に向き、ケガや事故の原因となります。

●不意なスロットルレバー操作は、止めてください。

・突然の回転により、思わぬ事故の原因となります。

●スロットルレバーを、針金などを巻き付けて、固定しないでください。

・誤作動を起こす可能性があり、ケガや事故の原因となります。

●チェーンを地面に食い込ませたり、掘り返すような使用は、止めてください。

・キックバックが発生し、大変危険です。

●チェーンブレーキが作動した場合、ただちにエンジンを停止し、チェーンの欠損などの、損傷や破損がないか、点検してください。

・損傷や破損した状態での使用は、破片が飛散する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

●ホコリよけカバーを掛けたまま、使用しないでください。

・エンジンやマフラーの熱で、カバーが溶ける恐れがあり、火災の原因となります。

●切断する木材は、まくら木や杭、ロープなどで、確実に固定してください。

・固定が不十分な状態は、人体への傷害や事故の原因となります。

●素手で、チェーンに絡まった草や蔦を、取り除かないでください。必ず、安全手袋を着用してください。

・手や指をケガする恐れがあります。

●エンジン始動中に、プラグコード、プラグキャップに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

●エンジンを始動させた状態で、放置しないでください。本製品から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

・不意に作動する可能性があり、人体への傷害や事故の原因となります。

●エンジン始動中のエンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になりますので、本体カバーを外さないでください。

・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。

●エンジン停止直後の、エンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になっています。

・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。

４．安全に使用していただくために

チェーンソーの安全上の留意事項

⚠ 注意

●ガイドバーカバー取り付けているときは、必ず作業前に取り外してください。

・取り付けた状態での使用は、本体故障の原因となります。

●エンジン始動は、操作手順に従ってください。

・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、人体への傷害や事故の原因となります。

●温度が５℃以下の場所では、使用しないでください。

・エンジン始動困難な場合があります。

●エンジンの回転数が低いと、キックバックが発生しやすくなります。

・事故の恐れがあるので、エンジン回転数を全開にして作業してください。

●草や蔦が絡まった状態では、使用しないでください。

・本体故障や、事故の原因となります。

●付属のキーレンチやＨＥＸレンチを使用した後は、必ず取り外してください。

・使用箇所に取り付けた状態での使用は、人体への傷害や事故の原因となります。

●切断した木を処理するときは、素手で作業しないでください。

・トゲが刺さったりする可能性があるので、安全手袋などを着用してください。

●万が一に備え、必ず救急箱を作業場所に備え付けてください。

・使用した物は、必ず補充し、何時でも使用できるよう、備えてください。

４．安全に使用していただくために

点検・保管

⚠ 危険

●点検・清掃・交換するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。

・エンジン始動状態での作業は、ケガや重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・運搬・保管してください。

・加熱された状態での点検・運搬・保管は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

●燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬・保管しないでください。

・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠ 注意

●チェーンを交換するきは、素手で作業しないでください。

・チェーンは鋭利になっているので、手や指をケガしないためにも、安全手袋などを着用してください。

●新品のチェーンは、使用直後の伸びが大きく、緩みやすくなります。

・頻繁に張りの調整を行ってください。

●チェーンの張りが緩いと外れやすくなり、強く張り過ぎるとガイドバーなどが摩耗します。

・適度な張りに調整し、使用後は必ず張りを確認してください。

●１ヶ月以上、長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。

・燃料の劣化により、エンジン始動困難や故障の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●施錠のできる場所に、保管してください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●整理整頓された場所、清潔で常温な場所に保管してください。

・障害物がある場所、高温・多湿、ホコリが多い場所、振動のある場所には保管しないでください。

●保管するときは、必ずガイドバーカバーを取り付けてください。

・チェーンは非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

5. 重要ラベル

●安全な取り扱いのために、本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

1

2

3

貼り付け位置：3

ASTRO PRODUCTS AP160581

CHAIN SAW チェーンソー

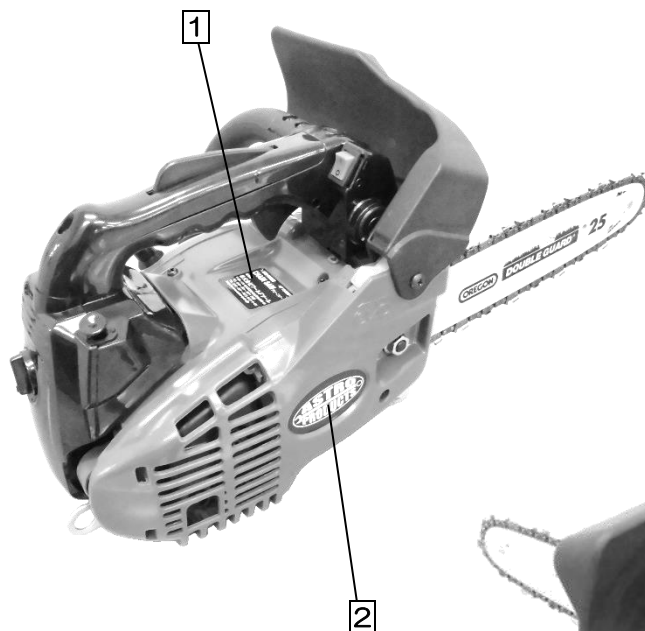
取り扱いを誤ると、非常に危険です。死亡や重傷など、重大な傷害を負う危険があります。

先端では、絶対に切断しないでください。キックバックにより、作業者に向かって跳ね返る恐れがあり、重大な傷害を負う危険があります。

使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してください。

保護メガネ、耳栓やイヤーマフ、安全帽（ヘルメット）を必ず着用してください。

両手で、確実にハンドルを保持し、絶対に片手で作業しないでください。

■商品仕様
・エンジン種類：空冷2サイクルガソリンエンジン
・排気量：25.4cc ・混合比：25:1
・出力：0.85Kw ・騒音：113dB

６．製品仕様

型番		ＡＰ１６０５８１
商品コード		２０１６０００００５８１３
エンジン	エンジン種類	空冷２サイクルガソリンエンジン
	排気量	２５．４ｃｃ
	最大出力	０．８５Ｋｗ
	始動方式	リコイルスターター
	スパークプラグ	Ｌ８ＲＴＦ（ＮＨＳＰＬＤ）／ ＢＰＭＲ７Ａ（ＮＧＫ）
燃料タンク容量		０．２３Ｌ
燃料		混合ガソリン
混合比		２５：１
チェーンオイル容量		０．１６Ｌ
チェーン		ＯＲＥＧＯＮ製　２５ＡＰ－５８Ｘ
ガイドバー		ＯＲＥＧＯＮ製　１００ＳＤＡＡ０４１
騒音		１１３ｄＢ
重量		３．７Ｋｇ（チェーン・ガイドバー含む）
本体サイズ		Ｌ４８５×Ｗ２１０×Ｈ２３０ｍｍ（チェーン・ガイドバー含む）
付属品		各部名称 ２．付属品参照

●製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●本製品は、６ヶ月保証対象品（５０ページ 製品保証書 参照）です。

７．製品説明

●２サイクルガソリンエンジン式のチェーンソーです。

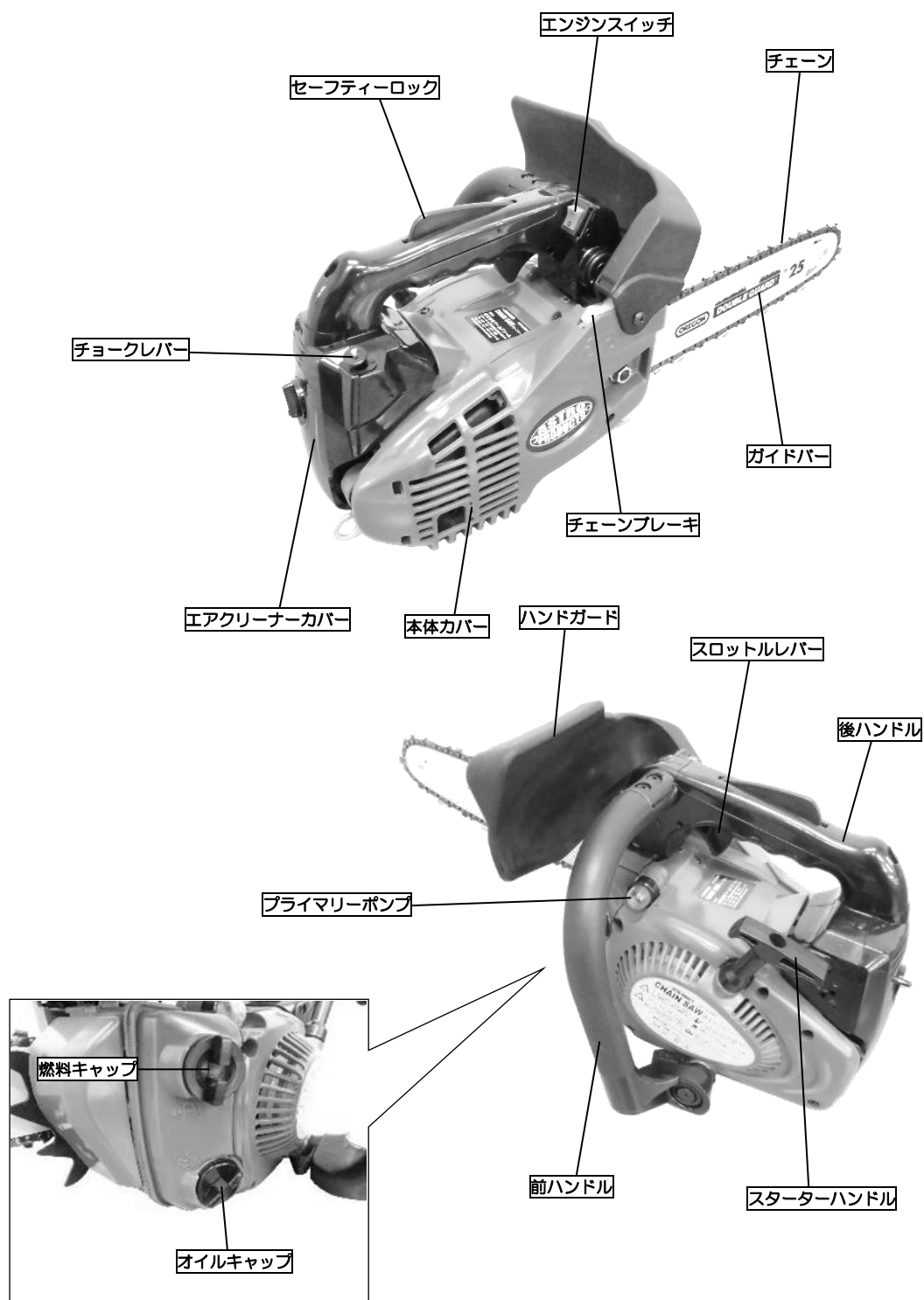
●ガイドバーとチェーンが付属しているので、すぐに木を切断することができます。

●チェーンブレーキが備わっているので、不測の事態が発生しても、すぐにチェーンの回転を停止することができます。

●混合用のオイル、チェーンソーオイルは付属していません。別途、用意してください。

８．各部名称・説明

８－１．各部名称

１．本体

８．各部名称・説明

８－１．各部名称

２．付属品

本体×１	ガイドバー×１	チェーン×１
ガイドバーカバー×１	スパイク×１	ビス×２
キーレンチ×１	ＨＥＸレンチ３mm×１	ＨＥＸレンチ４mm×１
マイナスドライバー×１	目立てヤスリ×１	混合タンク×１

●製品改良のため、主要機能および形状、付属品の内容などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

８．各部名称・説明

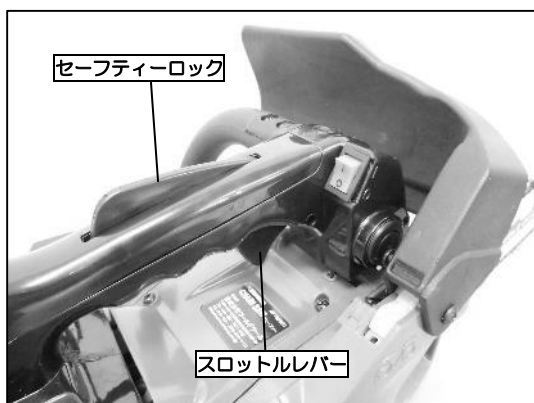
８－２．各部説明

１．エンジンスイッチ

●エンジンの始動・停止スイッチです。

●「○」マーク：エンジン停止

●「｜」マーク：エンジン始動

２．スロットルレバー

●チェーンの回転・停止を操作するレバーです。

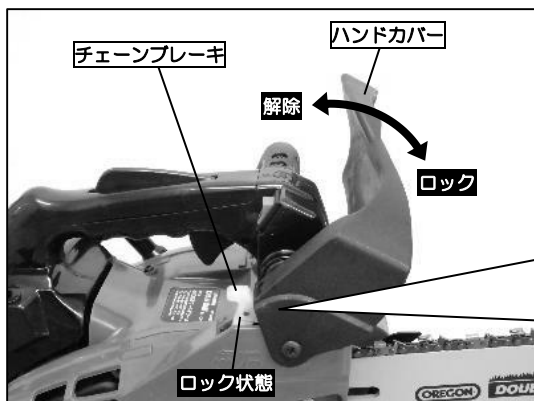
●停止：離す

●回転：握る

重要

●誤作動を防止するため、セーフティーロックが付いています。

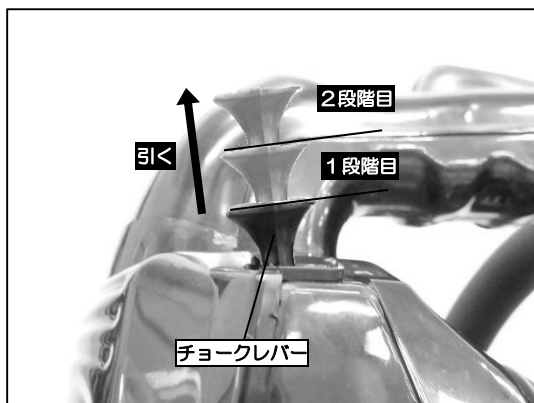
・スロットルレバーを操作するときは、セーフティーロックも一緒に握ってください。

３．チェーンブレーキ

●キックバックが発生したときに、チェーンの回転を、強制的に停止（ロック）させます。

●ハンドカバーをチェーン側に押すとロックされ、ハンドカバーを前ハンドル側に引くと、ロックが解除されます。

8．各部名称・説明

8－2．各部説明

4．チョークレバー

●冷感時のエンジン始動を、容易にするレバーです。
●チョークレバーは２段階式です。
●１段目：初爆後のエンジン始動位置
●２段目：冷感時のエンジン始動位置
●チョークレバーを引くと「カチッ」と音がする箇所が１段目で、さらに引くと小さく「カチッ」と音がする箇所が、２段目です。
※強く引くと、１段目と２段目がわかりにくくなります。

5．プライマリーポンプ

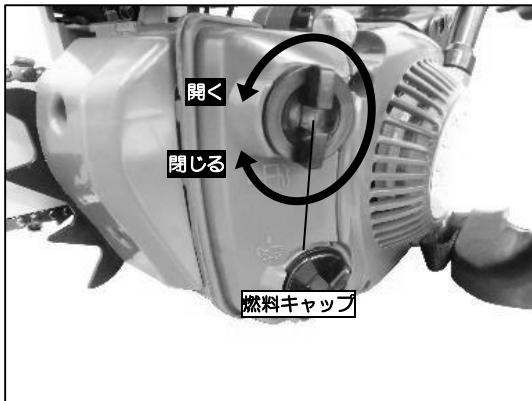
●エンジン始動時に、燃料を送り込むポンプです。
●約１０回押すと、プライマリーポンプの透明カバー内に燃料が送り込まれます。
●燃料が送り込まれたら、押すのを止めてください。

6．スターターハンドル

●エンジンを始動させるための、スターターです。
●スターターハンドルを、勢いよく引くことにより、エンジンが始動します。

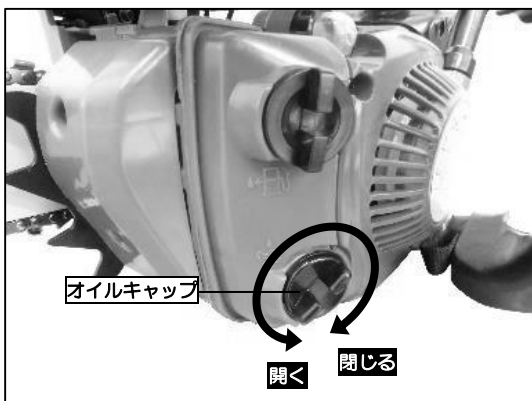
８．各部名称・説明

８－２．各部説明

７．燃料キャップ

●燃料キャップを緩めて開けると、燃料の給油口になります。

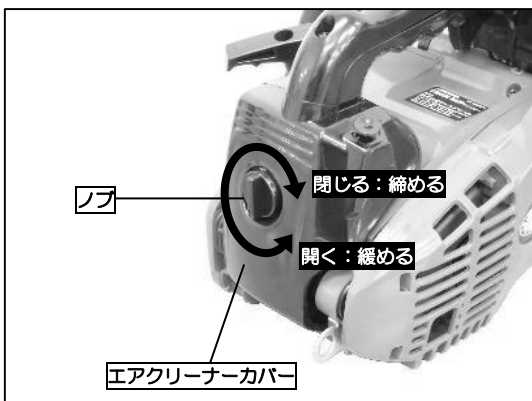
●燃料容量：０．２３Ｌ

●燃料給油後は、燃料キャップを確実に締め付け、閉じてください。

８．オイルキャップ

●オイルキャップを緩めて開けると、チェーンソーオイルの給油口になります。

●オイル容量：０．１６Ｌ

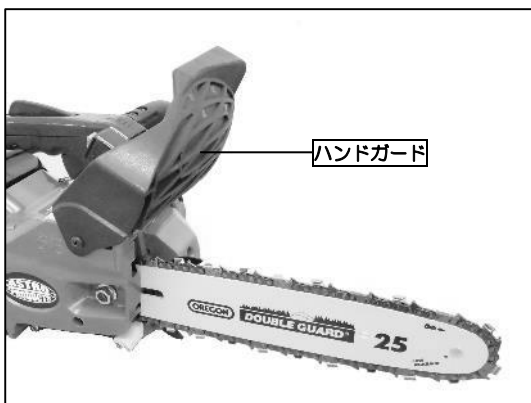
●チェーンソーオイル給油後は、オイルキャップを確実に締め付け、閉じてください。

９．エアクリーナーカバー

●エアクリーナーカバーを開けると、フィルターが入っています。

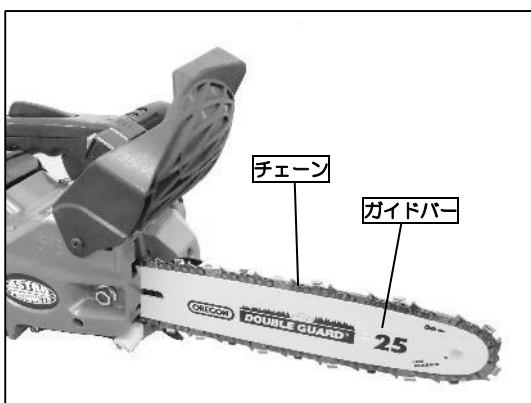
●スパークプラグの清掃・交換も、エアクリーナーカバーを開けて行います。

８．各部名称・説明

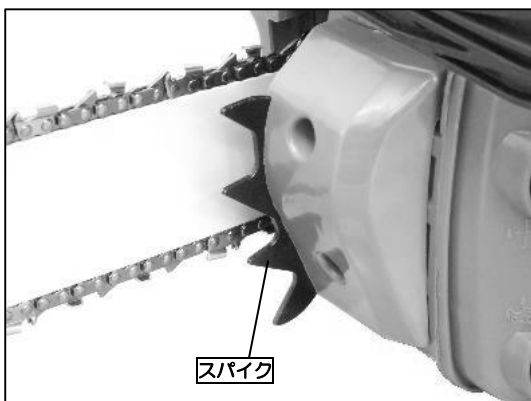
８－２．各部説明

１０．ハンドガード

●作業中、手を守るためのガードです。

●チェーンブレーキのロック、解除も兼ねています。

１１．ガイドバー・チェーン

●チェーンが高速回転することにより、木材を切断します。

●ガイドバーを前後に調整することにより、チェーンの張りを調整できます。

１２．スパイク

●丸太を切断するとき、スパイクを支点にして切断すると軽い力で安定した切断ができます。

●スパイクを取り付けると、切断できる範囲が短くなるので作業用途に合わせて取り付けてください。

●ガイドバーを取り付けると、スパイクを取り付けることができません。

９．各部取り付け

９－１．スパイクの取り付け

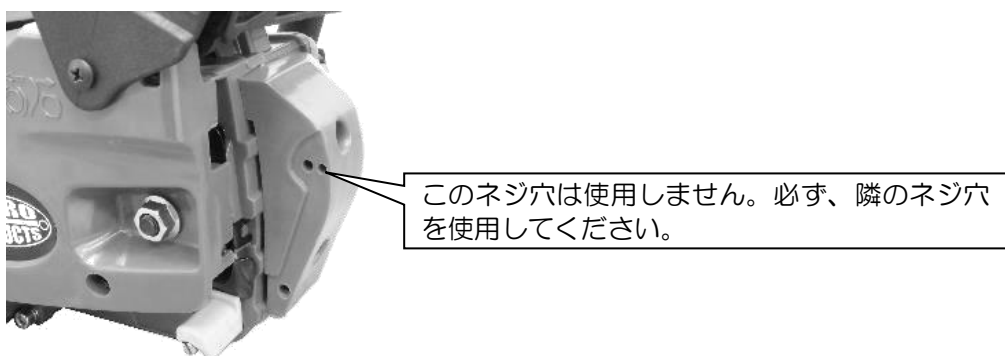
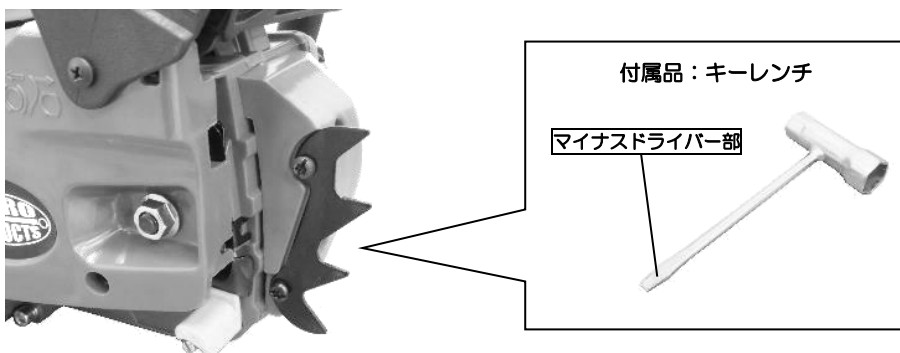
１．要点

●スパイクを取り付けると、丸太を切断するとき、スパイクを支点に軽い力で、安定した切断ができます。

●スパイクを取り付けなくても、木材の切断は可能です。作業に合わせて、取り付けてください。

●ガイドバーを取り付けると、スパイクを取り付けることができません。

２．取り付け方

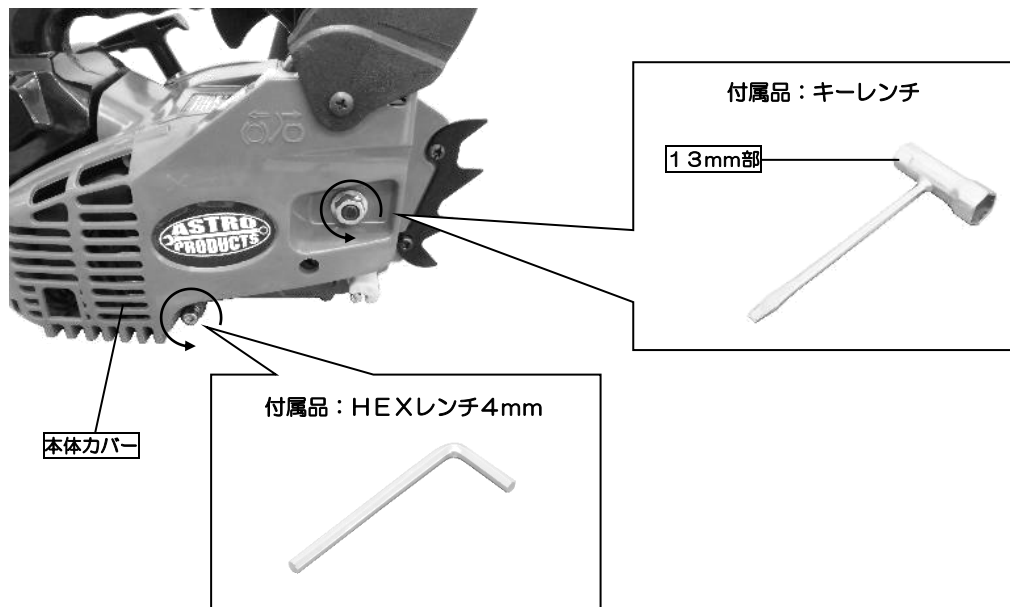
1 取り付け位置に、スパイクをあてがい、ビス×２で仮固定します。

2 キーレンチのマイナスドライバー部で、確実にビスを締め込みます。

⚠警告

●ビスは確実に締め込み、スパイクがしっかり固定されたことを確認してください。
・取り付け不良は、重大な事故を招く恐れがあります。

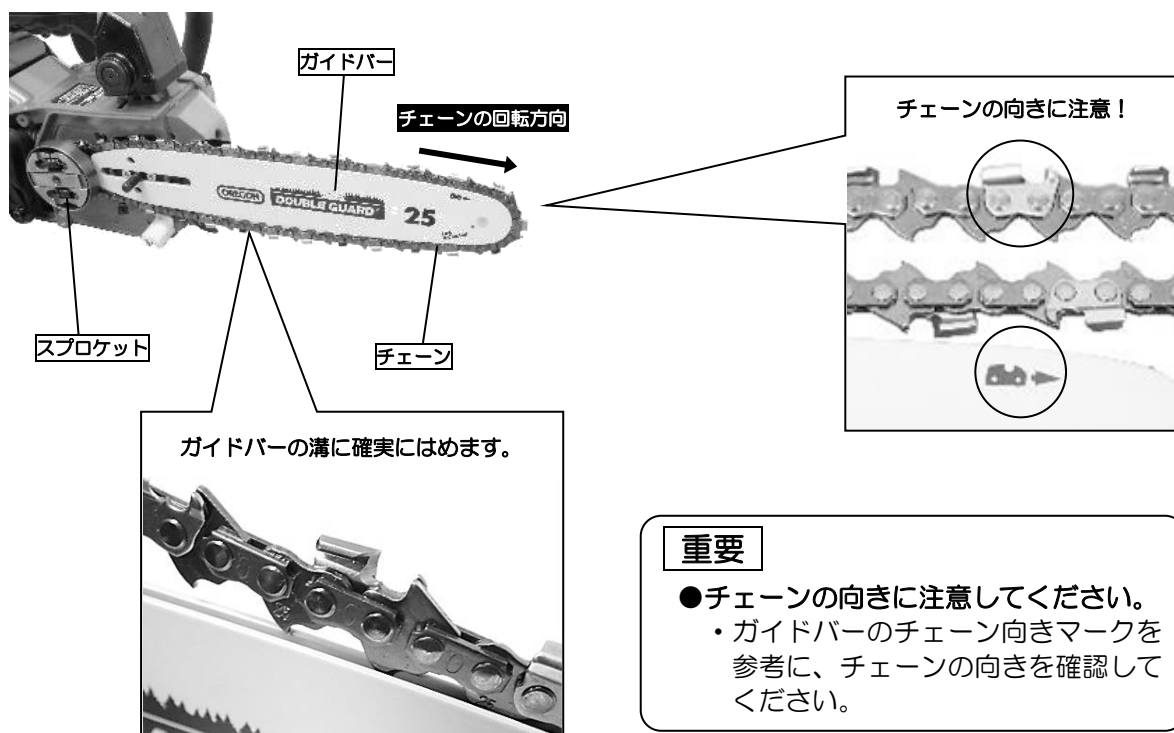
9．各部取り付け

9－2．ガイドバー・チェーンの取り付け

2．取り付け方

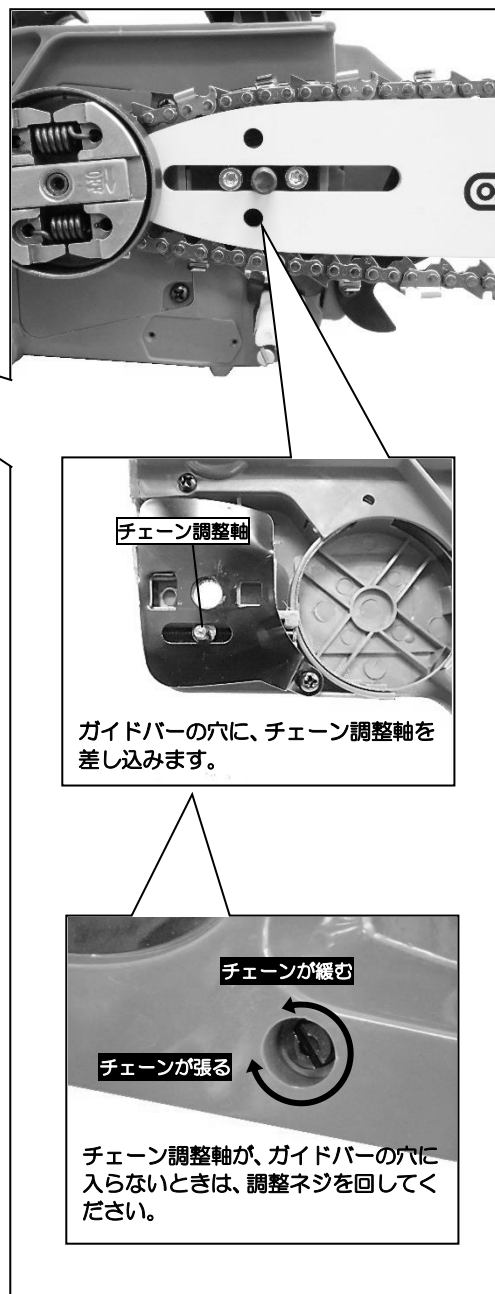
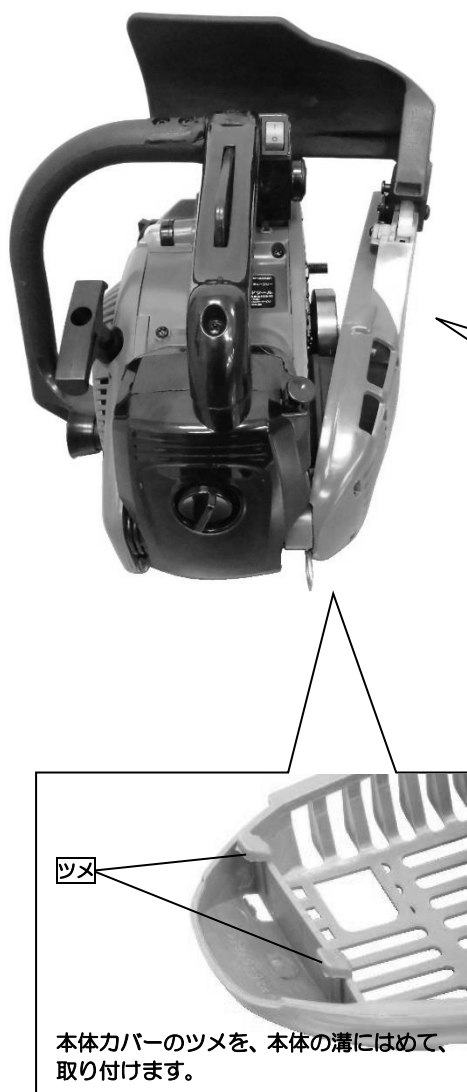
1 ナット、ＨＥＸボルトを緩め、本体カバーを外します。

2 ガイドバーを取り付け、スプロケットにチェーンを掛け、ガイドバーの溝に確実にはめます。

重要

●チェーンの向きに注意してください。
・ガイドバーのチェーン向きマークを参考に、チェーンの向きを確認してください。

９．各部取り付け

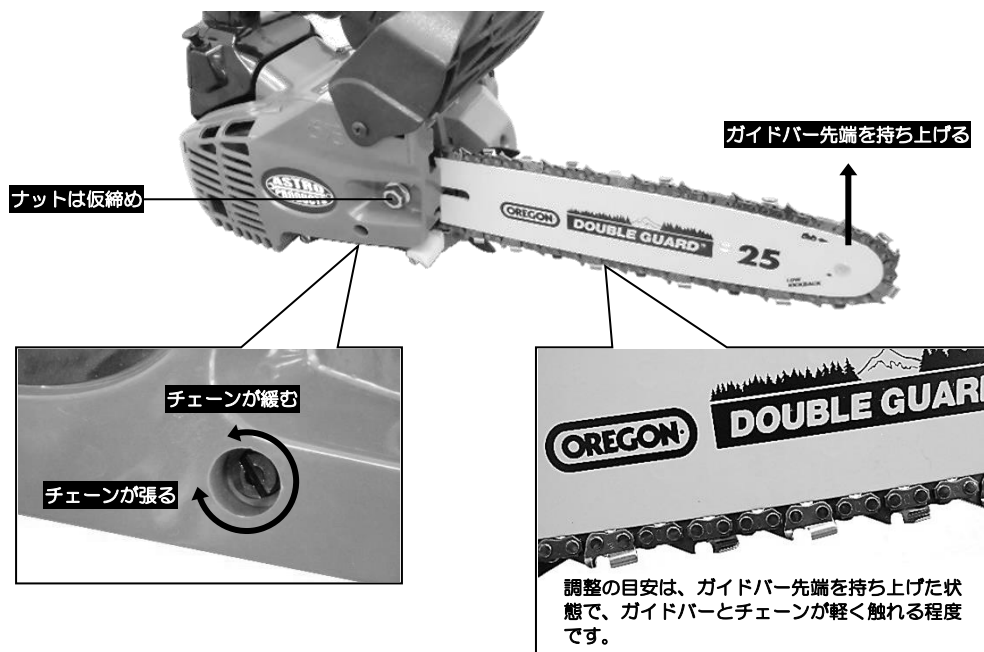
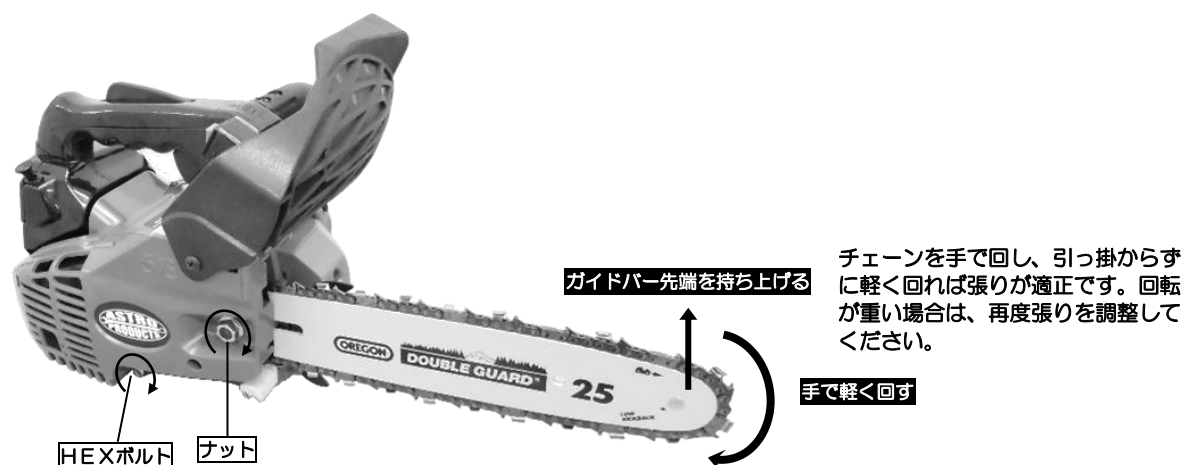
９－２．ガイドバー・チェーンの取り付け

２．取り付け方

3 本体カバーを取り付けます。

９．各部取り付け

９－２．ガイドバー・チェーンの取り付け

２．取り付け方

4 ガイドバー先端を持ち上げながら、チェーンの張りを調整します。

5 ガイドバー先端を持ち上げながら、ナット、ＨＥＸボルトを増し締めします。

重要

- ●新品のチェーンは、使用直後の伸びが大きく、緩みやすくなります。
  - ・頻繁に張りの調整を行ってください。
- ●チェーンの張りが緩いと外れやすくなり、強く張り過ぎるとガイドバーなどが摩耗します。
  - ・適度な張りに調整し、使用後は必ず張りを確認してください。

１０．燃料の給油

１０－１．燃料給油前の確認

１．燃料給油の留意点

⚠危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。
- ・タバコを吸わない。
- ・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。
- ・通気のよい場所で給油する。
- ・静電気を除去してから給油する。
- ・エンジンを停止させる。

●給油後は燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は絶対に使用しないでください。
- ・漏れた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
- ・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●エンジンの始動は、給油した場所より、３ｍ以上離れた場所で始動してください。
- ・燃料がこぼれている可能性があり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠警告

●燃料キャップは、確実に締め付けてください。
- ・締め付け不足は、燃料漏れの原因となります。

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。
- ・石けんと水で、よく洗い流してください。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。
- ・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

⚠注意

●無鉛レギュラーガソリンと２サイクルエンジンオイルを、混ぜ合わせた燃料を使用してください。
- ・他の燃料の使用は、止めてください。

●燃料給油中、燃料タンク内に水が入らないよう、注意してください。
- ・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

●混合ガソリン以外の燃料の使用や、混合比（２５：１）を間違わないでください。
- ・混合ガソリン以外の燃料の給油や、混合比を間違うと、エンジン始動困難や不調、本体故障の原因となります。

２．混合ガソリン

●無鉛レギュラーガソリン＋２サイクルエンジンオイルを混ぜ合わせます。

●混合比：２５：１

●市販されている、２５：１の混合ガソリンも使用できます。

１０．燃料の給油

１０－２．燃料の給油

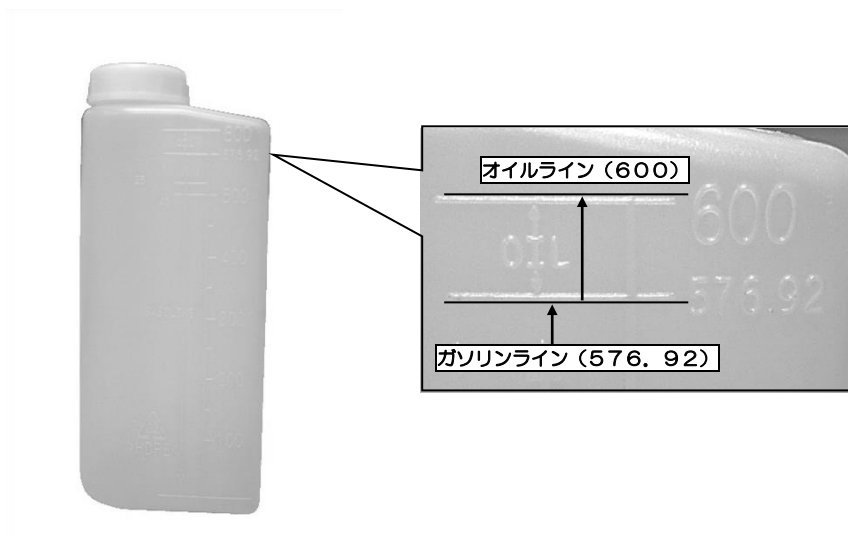
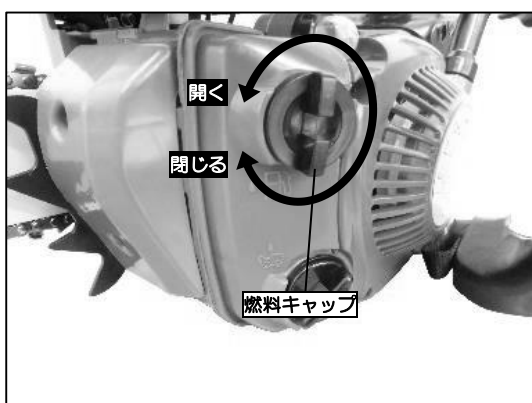
１．混合タンク

●混合タンク表面の目盛に従って、ガソリンとオイルを注入し、混ぜ合わせます。

●混合タンク表面の目盛り「５７６．９２（ガソリンライン）」までガソリンを入れます。

●２サイクルエンジンオイルを、「６００（オイルライン）」の目盛りまで入れます。

●注入後は、キャップを確実に締め、上下左右によく振ります。

●６００ｃｃの混合ガソリンができます。

２．給油

●燃料を給油するときは、燃料キャップ面を上にします。

●燃料キャップを開け、混合ガソリンを給油します。

●容量：０．２３L

●燃料給油後は、燃料キャップを確実に閉めてください。

１１．チェーンソーオイルの給油

１１－１．チェーンソーオイルの給油

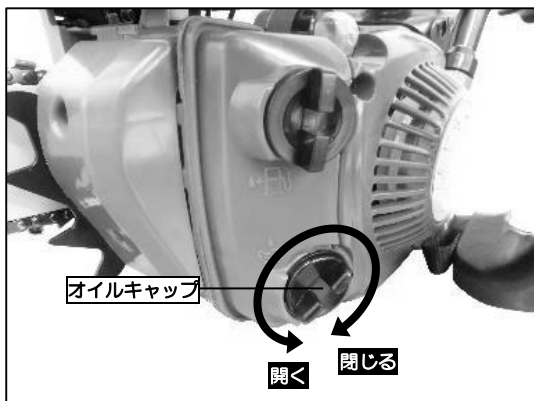
１．チェーンソーオイル

●使用前には、必ずチェーンソーオイルを給油してください。チェーンソーオイル不足は、ガイドバー、チェーンが摩耗し、本体故障の原因となります。

●本製品に、チェーンソーオイルは付属していません。別途、用意してください。

●廃油、再生油は故障の原因となるので、使用しないでください。

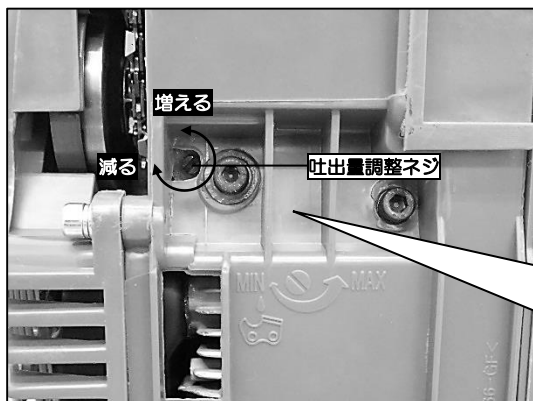
●市販のチェーンソー専用オイル、またはＳＡＥ１０Ｗ－３０のオイルを使用してください。

２．給油

●チェーンソーオイルを給油するときは、オイルキャップ面を上にします。

●オイルキャップを開け、チェーンソーオイルを給油します。

●容量：０．１６Ｌ

●給油後は、オイルキャップを確実に閉めてください。

３．吐出量の調整

●本体底部の吐出調整ネジを回すと、チェーンソーオイルの吐出量を調整できます。

●硬い木や、樹脂の多い木を切断するとき、冬場などオイル粘土が高いときは、吐出量を増やしてください。

●付属のマイナスドライバーで調整します。

付属品：マイナスドライバー

１２．エンジン始動・停止

１２－１．始動前手順

１．エンジン始動の留意点

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。
・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

⚠警告

●エンジン始動は、平らな場所に置き、本体をしっかり押さえながら始動してください。
・不安定な場所でのエンジン始動は、ケガや事故の原因となります。
●エンジン始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
・ケガや事故の原因となります。

⚠注意

●エンジン始動は、操作手順に従ってください。
・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、ケガや事故の原因となります。

２．エンジンの始動場所について

●エンジン始動に不適正な場所

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

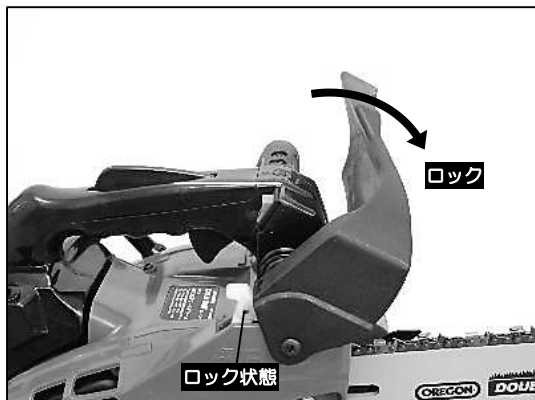
●エンジン始動に適した場所

・通気がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３ｍ以上離れた場所
・建物より、１ｍ以上離れた場所
・固く平らな路面

１２．エンジン始動・停止

１２－１．エンジン始動手順

３．始動手順

1 ハンドガードを押し、チェーンブレーキをロックします。

●必ず、平らな場所に置いた状態で、始動操作してください。

2 エンジンスイッチを、「Ｉ」位置にします。

3 チョークレバーを、操作します。

●冷感時など、エンジンが冷えているときは、チョークレバーを、２段目まで引いてください。

●エンジンが暖まっているときは、チョークレバーを１段目まで引いてください。

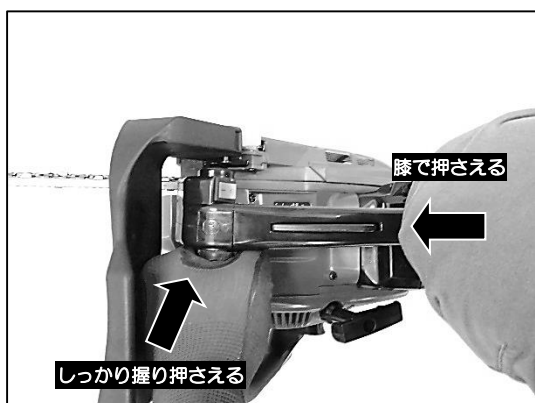
１２．エンジン始動・停止

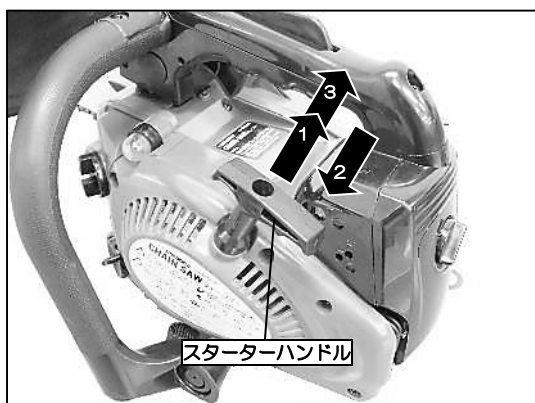
１２－１．エンジン始動手順

３．始動手順

4 プライマリーポンプを、約１０回押します。

●約１０回押し、プライマリーポンプの透明カバー内に燃料が送り込まれたことを確認します。
●燃料が送り込まれたら、押すのを止めてください。
●再始動するときは、ポンプ操作は必要ありません。

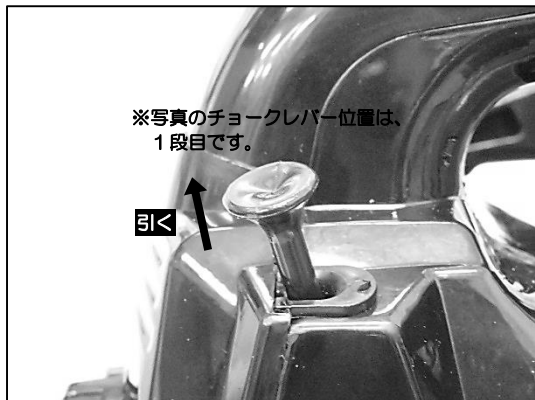
5 本体が動かないように、しっかり押さえます。

●前ハンドルをしっかり握り、後ハンドルを膝で押さえます。
●上から押し付けるように、押さえます。

6 スターターハンドルを引く。

●スターターハンドルを操作します。
1 本体をしっかり押さえます。
2 スターターハンドルが重たくなる位置まで軽く引きます。
3 スターターハンドルを、手放さずに戻します。
4 勢いよく、スターターハンドルを引きます。
※エンジンが始動するまで、繰り返します。

１２．エンジン始動・停止

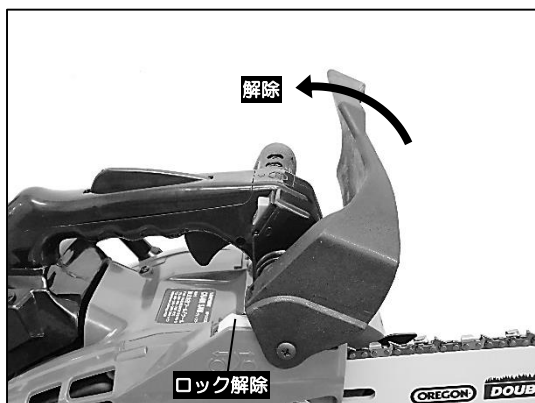
１２－１．エンジン始動手順

３．始動手順

7 スロットルレバーを握り、一度チョークを戻し、１段目まで再度チョークを引きます。

●スロットルレバーは、セーフティーロックと一緒に握らなければ、操作できません。

8 ２～３分間の暖機運転後、スロットルレバーを握り、チョークを戻します。

●スロットルレバーは、セーフティーロックと一緒に握らなければ、操作できません。

9 ハンドガードを引き、チェーンブレーキを解除します。

●ハンドガードを引くときは、スロットルレバーを握らないでください。

●チェーンブレーキを解除し、スロットルレバーを操作すると、チェーンが回転します。

１２．エンジン始動・停止

１２－２．エンジン停止手順

１．エンジン停止時の留意点

危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。
・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

警告

●エンジン停止直後の、エンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になっています。
・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。
●エンジンを停止しても、惰性で回転します。完全に回転が止まるまで、地面に置いたり、触れたりしないでください。
・ケガや事故の原因となります。

注意

●回転が完全に停止したことを確認し、ガイドバーカバーを装着してください。
・ケガの原因となります。

２．エンジンの停止場所について

●エンジン始動に不適正な場所

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

●エンジン始動に適した場所

・通気がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３ｍ以上離れた場所
・建物より、１ｍ以上離れた場所
・固く平らな路面

１２．エンジン始動・停止

１２－２．エンジン停止手順

３．停止手順

1 スロットルレバーより手を離し、低速でしばらく運転します。

●低速運転中は、安全な場所に置き、本体より離れないでください。

●低速運転中は、使用者以外、近づけないでください。

2 エンジンスイッチを、「O」位置にします。

●回転が完全に停止したことを確認し、ガイドバーカバーを装着してください。

１３．作業前準備および確認事項

１３−１．作業場所の確認

●次の作業環境下では、使用しないでください。人体への損傷や、物品への損害など、重大な事故の原因となります。

・足元が滑りやすく、不安定な場所

・早朝や夜間、霧が発生し視界が悪く、周囲の安全をよく確認できないとき

・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時

・急傾斜など、転倒の恐れがある場所

・ガソリン、軽油、灯油などの、燃料がある場所

・腐食性ガスの発生する場所

・通気が悪く、換気のできない場所

●作業場所の状況、地形、切断物の太さ、障害物との距離、周囲の危険度などを、よく確認してください。

●伐木作業時は、対象木の高さ２．５倍以内を危険区域とし、立札をなどで警戒を促し、人を近づけないでください。

１３−２．服装の確認

●次の服装・保護具を着用してください。

・袖じまりのよい長袖の上着を着用し、ボタンやファスナーは最後まで閉じ、裾はズボンに入れます。

・裾じまりのよい長ズボンを着用し、長靴着用時は裾を中に入れ、安全靴着用時は裾を上部に、挟み込みます。

・保護メガネ（ゴーグル）または、フェイスガードを着用します。

・保護帽（ヘルメット）を着用し、髪が長い場合は束ねてから、保護帽（ヘルメット）を着用します。

・滑りにくい先芯入りの長靴または、滑りにくい先芯入りの安全靴（ヒモなし）を着用します。

・防振性の高い手袋（防振手袋）を着用します。

●次の服装などは、巻き込まれケガをし、事故の原因となりますので、止めてください。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。

・ネクタイや、ネックレスなどの装飾具を身に付けている。

・首に、タオルを巻き付けている。

・サイズの極端に大きな衣服や、だぶだぶの衣類を着用している。

１３．作業前準備および確認事項

１３－３．木の切断作業時の身体に対する留意事項

１．振動傷害

●作業者の体質によって、指が白くなり感覚がなくなる症状や、手や指、腕がしびれたり、冷え、こわばりなどが持続的に現れる、振動障害を発症することがあります。発症には個人差があり、発症させないためにも、次の内容を守ってください。

・作業時間を制限し、振動を受ける時間を減らしてください。

・身体を温かく保ってください。

・手や指先、腕を冷やさないでください。

・頻繁に休憩をとってください。

・腕の運動をし、血行をよくしてください。

・作業中の喫煙は、止めてください。

・振動障害の症状が見られた場合は、ただちに作業を中止し、医師の診断を受けてください。

２．作業時間

●行政機関では、作業者の健康管理のため、次のような作業時間の指導をしています。健康を害さないためにも、作業時間の組み合わせを、しっかり計画し作業してください。

・１日の作業時間：２時間以内

・１回の連続作業時間：１０分以内

・１回の連続作業後の休止時間：作業時間と同じ程度

３．熱中症

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では、使用しないでください。

・高温による脱水症状や、熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。

１３－４．作業前点検

●作業前に、各部の点検を行ってください。異常が見られる場合は作業を中止し、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。

①チェーンの緩み・摩耗 ／ ②ガイドバーの曲り・摩耗 ／ ③ハンドルの変形・損傷・緩み、

④チェーンブレーキの作動状態 ／ ⑤各部ネジ類の緩み ／ ⑥燃料漏れ ／ ⑦チェーンオイルの量

１４．木の切断

１４－１．木の切断作業時の留意事項

●伐木のとき、木の倒れる方向をよく確認し、木の倒れる反対線から約４５°方向に退避場所を決めてください。

●傾斜地では足場を確保し、木の倒れる方向や倒れる木が転がる方向をよく確認してください。

●傾斜地での作業は、必ず切断する木材の上方で作業してください。

●人体への傷害や重大な事故の原因となるので、次の操作は、絶対に止めてください。

・チェーンに、顔や手を近づけた状態で、スロットルレバーを操作する。

・回転しているチェーンに、手や足を近づける。

・身体に近い状態で、チェーンを回転させる。

●前ハンドルを左手、後ハンドルを右手で、囲みこむようにしっかり握り、両手で操作してください。

●エンジン回転数全開で、切断作業を行ってください。

●チェーンに、手や身体、衣服が触れないよう、十分注意してください。

●切断のときに、ガイドバーが挟まれないように注意してください。

●ガイドバーの先端では、絶対に切断しないでください。キックバックにより、作業者に向かって跳ね返る恐れがあり、重大な傷害を負う危険があります。

１４－２．キックバックについて

●キックバックは、ガイドバーの先端部が、枝や障害物などに触れたときに、ガイドバーが作業者に跳ね返ってくることです。

●キックバックは、作業者に跳ね返ってくる以外に、後方に押し戻される場合もあります。

・ガイドバーが木に挟まれ、エンジン回転数を上げたときに、急に後方に押し戻されることがあります。

・低速回転で、ガイドバーの上側で切断すると、後方に押し戻されることがあります。

●キックバックが発生すると、チェーンブレーキが作動します。

・チェーンブレーキが作動したらエンジンを停止し、チェーンブレーキのロックを解除してください。

１４．木の切断

１４－３．基本操作

１．木材の切断

1 木材を、まくら木や杭、ロープなどで転がらないよう回り止めし、動かないように確実に固定します。

2 エンジンを始動させます。

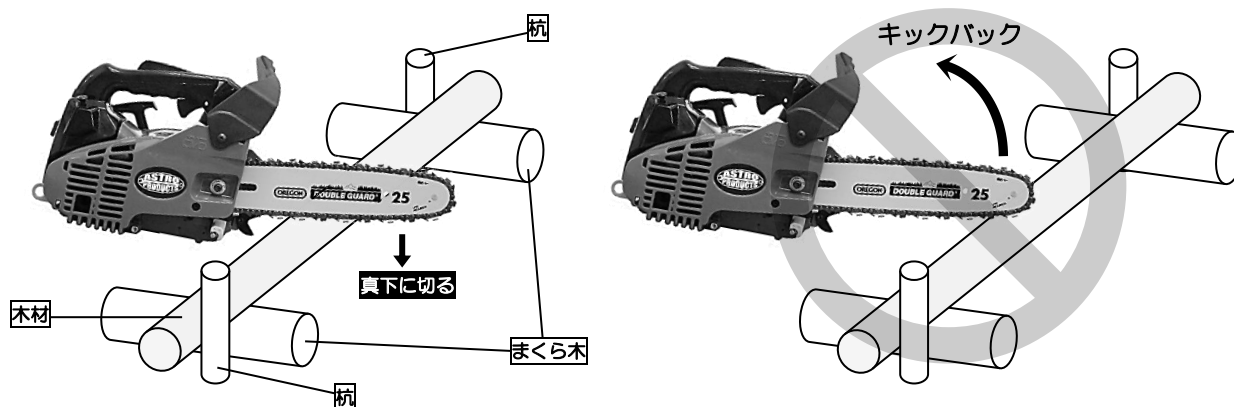
3 左手で前ハンドル、右手で後ハンドルをしっかり握ります。

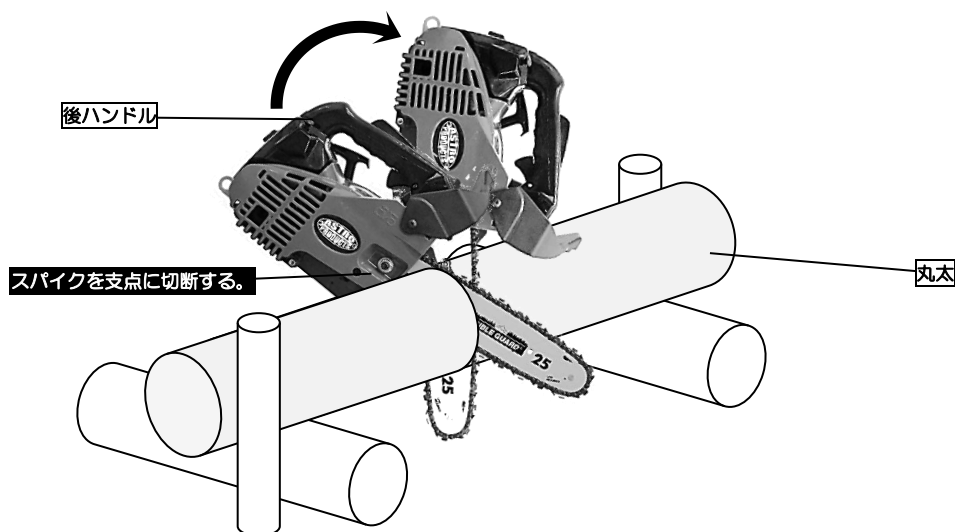
・右手でスロットルレバーを操作します。

・片手での操作は、絶対に止めてください。

4 スロットルレバーを「**全開**」にし、ガイドバーからチェーンオイルが吐出してくることを確認します。

5 回転が安定した状態で、ガイドバー中央付近を木材に当て、真下に本体を押し付け切断します。

6 作業終了後は、エンジンを停止させます。

２．丸太の切断

●ガイドバーの根本付近を丸太に当て、スパイクを支点にしながら、後ハンドルを持ち上げるように切断します。

１４．木の切断

１４－４．伐木（立木を倒す作業）・造材（倒した木を切断する作業）

●事業者の方へ

・伐木造材作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

・関連法令：労働安全衛生法第５９条第３項、安全衛生特別教育規定第１０条の２
　　　　　　労働安全衛生規則第３６条第８号の２

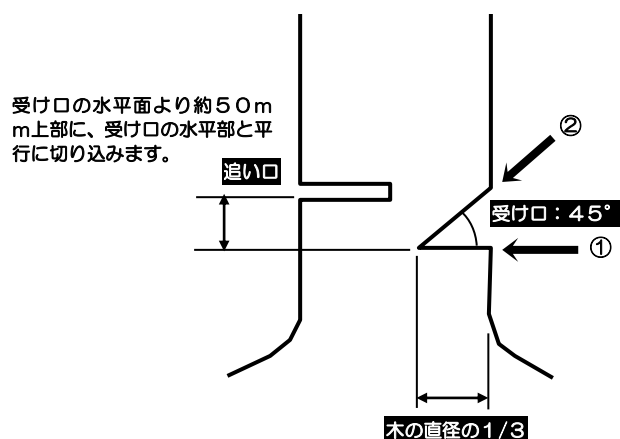
１．伐木

1 倒す木の傾き、枝の位置、風向きを考え、倒す方向を決めてください。

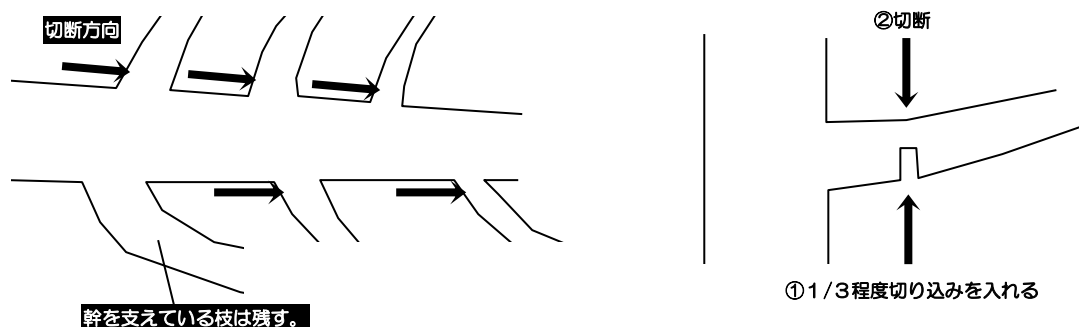
2 伐木する周辺の障害物を取り除き、しっかりとした足場を確保し、伐木後の退避場所を確保します。

3 倒す方向に、クサビ状の切り込み（受け口）を、① ⇒ ②の順で入れます。

4 反対側に、木に直角に切り込み（追い口）を入れます。

5 木が倒れ始めたら、エンジンを停止し、安全な場所に退避してください。

２．枝払い

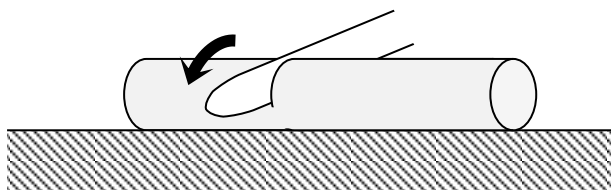
●伐木した木の枝払いは、上部側面の枝を一方向に切り落としてから、下部の幹を支えている枝を残し、下部枝を切り落とします。

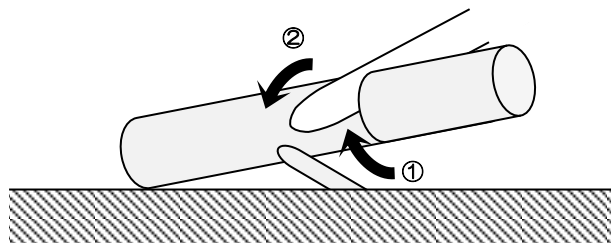
●太い枝は、下側から１/３程度の切り込みを入れ、切り込み上部より切断してください。

１４．木の切断

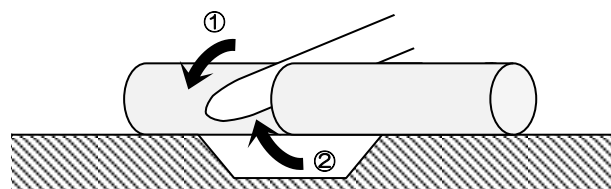
１４－４．伐木（立木を倒す作業）・造材（倒した木を切断する作業）

３．丸太全体が地面に接している

●丸太上部より切り始め、真っ直ぐ切り下げます。

●チェーンが地面に接しないよう、注意してください。

４．丸太の一端が支持されている

●丸太の下側より、直径の１/３まで切り込みを入れ、上側より切り込みに合わせるように切断します。

５．丸太の両端が支持されている

●丸太の上側より、直径の１/３まで切り込みを入れ、下側より切り込みに合わせるように切断します。

１５．点検・整備

１５－１．点検・交換時の留意点

危険

●**点検・清掃するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップ抜いてください。**
・エンジン始動状態での作業は、ケガや重大な事故の原因となります。

警告

●**エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・清掃してください。**
・加熱された状態での点検・清掃は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

１５－２．定期運転・交換

●保管状態でも、常に使用できる状態を保つため、定期運転・交換を行ってください。
・定期運転：１ヶ月に一度、エンジンの始動状態を確認してください。
・定期交換：燃料を、燃料タンクに残したまま保管する場合は、燃料の変質を防ぐため、１ヶ月に１度、燃料を交換してください。
・長期間保管する場合は、必ず燃料を全て抜いてください。

１５－３．点検・交換目安

●目安時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換してください。
●点検・交換目安は、期間毎、または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。
●各点検交換作業は、必ずエンジンを停止させてください。

	使用前 使用後	１ヶ月または ２０時間運転後	３ヶ月または ５０時間運転後	６ヶ月または １００時間運転後
フィルター	点検・清掃 ※１		点検・清掃	交換
スパークプラグ			点検・清掃	交換
チェーン	点検	目立て　※２		
ガイドバー	点検・清掃			
チェーンオイル吐出口	点検・清掃			

※１：ホコリなどが多い場所で使用した場合、エアクリーナーを１０時間運転後、または１日１回清掃してください。
※２：必要に応じて、目立てを行ってください。

１５．点検・整備

１５－４．フィルターの清掃

１．フィルターの清掃の留意点

⚠警告

●フィルターが付いていない状態で、エンジンを始動させないでください。
・エンジンの不調や故障、事故の原因となります。

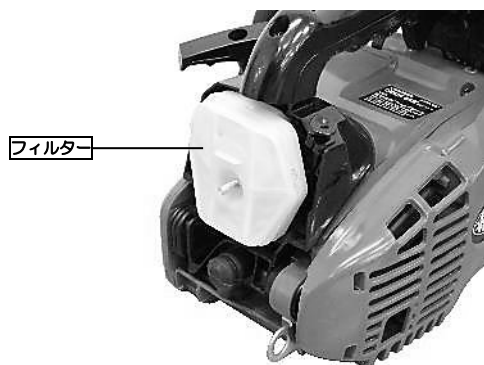
⚠注意

●フィルターを損傷させないよう、注意してください。
・損傷したフィルターを使用すると、本体故障の原因となります。
●フィルターに損傷がある場合は、新品と交換してください。
・損傷したフィルターを使用すると、本体故障の原因となります。

２．フィルターの清掃時期

●通常：３ヶ月、または５０時間運転後

●ホコリなどが多い場所：１０時間運転後または１日１回

３．フィルターの清掃

1 ノブを回し、エアクリーナーカバーを外します。

2 柔らかいブラシなどを使用し、フィルターに付着したゴミや汚れを取り除きます。
・汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で洗い、よく乾燥させてください。

3 エアクリーナーカバーを取り付け、ノブをしっかり締め込みます。

１５．点検・整備

１５－５．スパークプラグの点検・清掃・交換

１．スパークプラグの点検・清掃・交換の留意点

⚠警告

●エンジン停止直後のスパークプラグは、大変高温になっています。
・ヤケドの恐れがあるので、必ず冷めてから取り外してください。
●スパークプラグの碍子を、損傷させないでください。
・碍子の損傷は、漏電や火災の原因となります。
●指定されたスパークプラグ以外は、使用しないでください。
・指定外のスパークプラグを使用すると、故障や事故の原因となります。

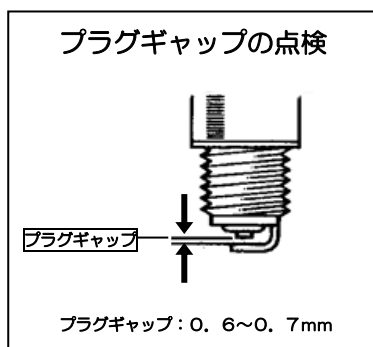
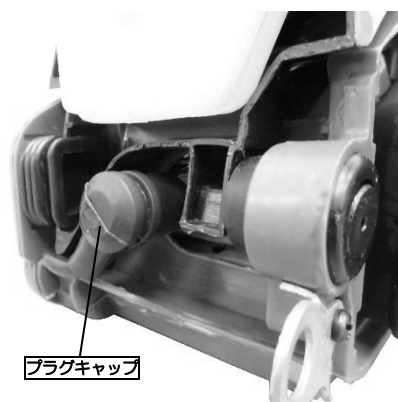
２．スパークプラグの点検・清掃・交換の時期

●点検・清掃：３ヶ月、または５０時間運転後

●交換：６ヶ月、または１００時間運転後

●標準スパークプラグ：Ｌ８ＲＴＦ（ＮＨＳＰＬＤ）／ ＢＰＭＲ７Ａ（ＮＧＫ）

※本製品には、Ｌ８ＲＴＦが装着されています。

３．スパークプラグの取り外し

1 エアクリーナーカバーを取り外し、プラグキャップを引き抜きます。

2 キーレンチで、スパークプラグを取り外します。

3 ワイヤーブラシで、電極に付着したカーボンを除去し、プラグギャップを点検します。

4 スパークプラグを、軽く手で締め込みます。

5 キーレンチで、スパークプラグを締め付けます。

6 プラグキャップを奥まで確実に差し込み、エアクリーナーカバーを取り付けます。

１５．点検・整備

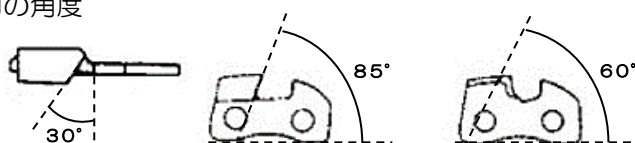
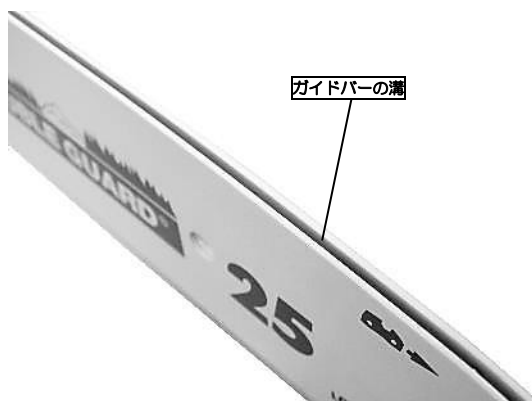
１５－６．その他部位の点検

１．チェーンの目立て

●チェーンの張りが適正の状態で本体を固定し、付属の目立てヤスリで、目立てます。

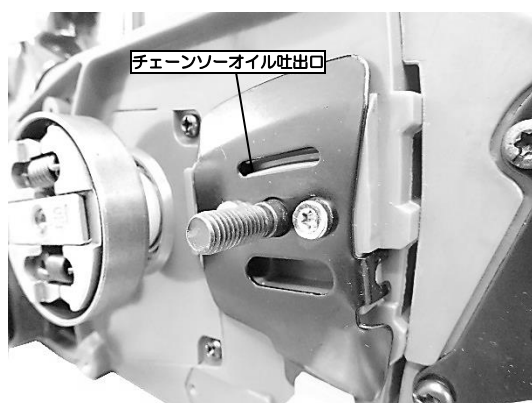
●目立ては、刃の奥から手前に押し出してください。２～３回押し出すと、刃が鋭くなります。

●チェーンの取り外し方は、参照してください。

●刃の角度

２．ガイドバーの清掃

●作業終了後は、ガイドバーを取り外し、溝に付着したゴミを取り除いてください。

●溝に細い棒などを入れて、清掃してください。

●ガイドバーの取り外し方は、２４ページ（９－２．ガイドバー・チェーンの取り付け）を参照してください。

３．チェーンオイル吐出口の清掃

●作業終了後は、チェーンソーオイル吐出口周辺のゴミを取り除いてください。

１６．燃料の抜き方

１６－１．燃料を抜くときの留意点

危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。
・タバコを吸わない。
・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。
・通気のよい場所で給油する。
・静電気を除去してから給油する。
・エンジンを停止させる。

●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

警告

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。
・石けんと水で、よく洗い流してください。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。
・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

注意

●１ヶ月以上の長期保管、運搬時には、必ず燃料を抜き取ってください。
・燃料は、長期間放置すると劣化し、エンジン始動困難など、故障原因となります。

●燃料は、ガソリン専用容器に入れてください。
・専用以外の容器は、使用しないでください。

●抜き取った燃料は、お住まいの自治体の処理方法に従ってください。
・処理方法が不明な場合は、専門業者に相談してください。

１６－２．抜き方

1 燃料キャップを、開けます。
2 燃料キャップ側に本体を傾け、燃料を抜きます。
・抜いた燃料は、必ずガソリン専用容器に、受けてください。
3 燃料キャップを、閉めます。
4 プライマリーポンプを、数回押します。
5 燃料キャップを、開けます。
6 燃料キャップ側に本体を傾け、燃料を抜きます。
・抜いた燃料は、必ずガソリン専用容器に、受けてください。
7 燃料キャップを、閉めます。
8 エンジンが停止するまで、始動させます。

１７．保管

１７－１．保管時の留意点

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、保管してください。
・加熱された状態での保管は、ヤケドや火災など事故の原因となります。
●燃料タンク内に、燃料を入れたまま保管しないでください。
・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠注意

●１ヶ月以上、長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。
・燃料の劣化により、エンジン始動困難や故障の原因となります。
●使用者以外、保管場所に近づけないで、施錠のできる場所に保管してください。
・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
●整理整頓された場所、清潔で常温な場所に保管してください。
・障害物がある場所、高温・多湿、ホコリが多い場所、振動のある場所には保管しないでください。
●保管するときは、必ずガイドバーカバーを取り付けてください。
・チェーンは非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

１７－２．保管方法

1 燃料を全て抜きます。
2 スパークプラグを取り外し、２サイクルエンジンオイルを、数滴たらします。
3 スターターハンドルを、数回引きます。
4 スパークプラグを取り付けます。
5 スターターハンドルを、重たくなる位置まで、軽く引きます。
6 各部の汚れを取り除き、防錆処理を施します。
7 ガイドバーカバーを取り付け、本体にホコリよけカバーを掛けます。
8 屋内で湿気がなく、通気性のよい施錠できる場所に保管します。

１８．破棄について

●本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。

●指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

１９．所有者・使用者責任

●所有者および、使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。

●資格を持ち、製品の構造および、構成している部品をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って、当該商品を使用した作業を行うようにしてください。

●危険・警告事項は、特によく理解するようにしてください。

●所有者および、使用者は今後の作業のうえで、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように、努めてください。

●重要ラベル、説明書については、いつでも読むことができるように、よい状態で保管してください。

２０．故障について

●故障と思われる場合は、自ら修理せずに、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。修理技術者以外の人は、絶対に分解または、修理を行わないでください。

●製品保証規定に該当しない場合は、有償修理となります。有償修理後は、修理箇所のみ、次の修理規定が適応されます。

修理規定

●製品保証規定以外の有償修理に該当します。

●当社以外で、分解、改造、調整、修理などが施されている製品は、修理対象外となります。

●修理は、当社で販売した製品に限ります。

●修理期間中に、お客様側で生じた、傷害や損害に関しては、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねます。

●修理期間中の、代替品の貸し出しはいたしません。

●当社で、修理不可能と判断した製品は、修理に応じかねる場合があります。

●修理完了後、同一現象で同一箇所の原因により、再修理が必要な場合、修理完了日より９０日以内において、無償で再修理を行います。

２１．個人情報の取り扱い

●ご提示いただいたご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに利用させていただきます。

●個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

２２．お問い合わせ先

カスタマーサービス

●故障と思われるときや、商品についての問い合わせは、次の番号まで連絡ください。

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７３

【受付時間】：月曜日～土曜日　１０：００～１９：００

※日曜日、祝日、当社が定める休日を除く

販売元　株式会社ワールドツール

●住所：〒３６９－１１０６　埼玉県深谷市白草台２９０９－５０

●電話番号：０４８－５０１－７８７１

●ＦＡＸ：０４８－５０１－７８７２

●ホームページ：ｈｔｔｐ：//www．ａｓｔｒｏ－ｐ．ｃｏ.ｊｐ

●住所・電話番号・受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

●上記電話番号が利用できない場合は、各地域の販売店へご連絡ください。

（２０１４年8月）

製品保証書

●この度は、アストロプロダクツ製品をお買上いただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、保証期間内（購入後１８０日）に、正常な使用状態にて故障が発生した場合に、弊社の責任に於いて、無償にて修理、交換することを、約束するものです。保証は、本書に購入レシートまたは、納品署を添付のうえお買い求めの販売店へ提示してください。

購入製品	ＡＰ チェーンソー / 型番：ＡＰ１６０５８１ / コード：２０１６０００００５８１３	
購入日	年　　月　　日	
保証期間	購入日より１８０日　※消耗品および、付属品は除きます。	
お客様	氏名	
	住所 ＴＥＬ：(　　　)　　　－	

［製品保証規定］

●製品の保証期間は、購入後１８０日です。

●正常な使用状態にて故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理、交換します。

●本保証は、当該製品単体の保証を意味します。製品の故障および、損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。

●本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障および、損傷に関しては、保証対象には含まれません。

●保証の可否は弊社が判定します。

●購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けます。

●製品保証は弊社で販売した商品のみ有効です。

●二次的に発生する損失の補償および、次に該当する場合は保証対象には含まれません。

（イ）使用上の誤り、保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷

（ロ）製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷

（ハ）消耗品が損傷し、取り替えを要する場合

（ニ）地震・火災・風害その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷

（ホ）当社発行の製品保証書、購入レシート、納品書の提示がない場合

（ヘ）取り扱い店以外での修理による故障、修理後の使用においての故障

（ト）購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障および損傷

発行店 購入Ｎｏ：

株式会社　ワールドツール
住所：〒３６９－１１０６
埼玉県深谷市白草台２９０９－５０
ＴＥＬ：０４８－５０１－７８７１

※本書は、再発行しませんので、大切に保管してください。